令和５年度　石狩市　組織運営方針
環境市民部

- 環境市民部
  - 環境課
  - 自然保護課
  - 石狩海浜植物保護センター
  - ごみ･リサイクル課
  - 広聴･市民生活課
  - 石狩市消費生活センター
  - 市民課

部の役割

地球温暖化による環境への悪影響は深刻で、気候変動による極端な気象現象が多発するとともに、生物多様性の損失は深刻さを増し、海洋プラスチックごみによる環境破壊は進行を続けています。地球温暖化対策は、世界が共通認識のもと取り組むべき重要な課題であり、本市も国際社会の一員として、脱炭素社会の実現に向けて、2050 年までに二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組む「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

環境分野としては、脱炭素社会の実現を図るべく、創エネ及び省エネ、ごみ減量化･リサイクルの推進、自然との共生、生活環境の保全、温室効果ガスの排出削減などに関する業務を行います。

市民生活分野としては、市行政と市民生活の接点として、窓口業務の充実を図るとともに、市民活動･生活安全、斎場･墓地管理など、市民と密接に関わる施策を推進し、市民参加･協働に関する業務を行います。

基本方針

- 地球温暖化対策を推進する（環境課）
- 安全･安心な生活環境づくりに努める（環境課）
- 生物多様性の保全及び持続可能な利用を図る（自然保護課）
- 石狩浜の貴重な海浜生態系の保護･保全を図る（海浜植物保護センター）
- ごみの減量化と適正処理の実施を図る（ごみ･リサイクル課）
- 市民との協働により安全で安心な暮らしを守る（広聴･市民生活課）
- 市民の消費生活の安全確保と消費生活センターの運営（消費生活センター）
- 行政活動への市民協働･市民参加を推進する（広聴･市民生活課）
- 住民記録、戸籍、国民年金業務の安定的な市民サービスを提供する（市民課）

重点事業

① 地域脱炭素社会の実現に向けた取組の加速（環境課）
② 大気・水・土壌環境の保全、公害防止対策の実施（環境課）
③ 飼養動物の愛護、野生生物の保護（環境課）
④ 生物多様性地域戦略・希少種保護計画の策定、外来生物による被害防止対策の実施（自然保護課）
⑤ 石狩浜海浜植物保護センターの運営（石狩浜海浜植物保護センター）
⑥ ごみの減量化・適正処理の実施（ごみ・リサイクル課）
⑦ 市民協働による安全安心な社会の構築（広聴・市民生活課）
⑧ 男女共同参画社会の推進（広聴・市民生活課）
⑨ 女性活躍推進事業の実施（広聴・市民生活課）
⑩ 消費生活センターを中心とした消費者保護行政の推進（消費生活センター）
⑪ 市民参加・市民協働の推進（広聴・市民生活課）

各重点事業の詳細

① 公共施設の脱炭素化に向けた取組の加速（環境課）

市内の主要な公共施設における再生可能エネルギー導入ポテンシャル及びマイクログリッド導入可能性の調査を実施し、再エネの最大限の導入及び脱炭素化を目指す。

地域脱炭素社会の実現に向けた意識啓発・行動変容（環境課）

市民の環境意識醸成に向けて、市内で開催するイベントを活用した周知啓発を行うほか、出前講座などの機会を活用して環境意識の啓蒙を図る。

② 生活環境の監視（環境課）

大気汚染防止法、水質汚濁防止法、土壌汚染防止法に基づく生活環境の監視・モニタリングを実施する。

③ ヒグマ等野生鳥獣対策（環境課）

ヒグマ目撃情報を認知した際の適時・適切な対応を行うとともに、野生鳥獣との適切な関係の構築に向けた周知啓発に取り組む。

④「いしかり生きものかけはしプラン」の策定（自然保護課）

本市が有する豊かな生物多様性を保全し、後世に継承するための指針として、生物多様性基本法に定める地域戦略を策定する。

「アカモズ」保全に向けた行動計画の策定（自然保護課）

近年、急速に個体数を減らしている希少種「アカモズ」が市域内で一定数営巣していることが判明したため、アカモズの繁殖適地の環境を保全するための行動計画を策定する。

⑤ 海浜植物等保護地区の管理・保全（石狩浜海浜植物保護センター）

バギー車等による侵入防止のため、監視員による監視、柵・ロープの維持保全に努めるほか、保護地区の普及啓発によって、「自然ふれあい地区」の適切な利活用の促進を図る。

⑥ ごみの減量化・適正処理の実施（ごみ・リサイクル課）

資源を有効に活用し、環境に優しい循環型社会が実現しているまちを目指し、新たなリサイクル品目の可能性を検討し、ごみの焼却量の減量化に取り組む。

R3 年度				本年度
項目	目標	実績	達成率	目標
家庭系ごみ原単位（資源ごみ及び集団資源回収を除く）	466g／人・日	486g／人・日	95.9%	462g／人・日
事業系ごみ排出量	4,430t／年	5,449t／年	81.3%	4,376t／年

⑦ 生活安全・交通安全対策の充実（広聴・市民生活課）

市民が安心して暮らせるよう、交通安全の啓蒙・啓発に努めるとともに、子ども・高齢者等を対象に交通安全教室を実施する。

【子ども・高齢者の人身事故件数】

昨年度			本年度
目標	実績	達成率	目標
R3年度実績（44件）から減	31件	70.5%	R4年度実績（31件）から減

⑧ 男女共同参画社会の推進（広聴・市民生活課）

少子高齢化・人口減少・ライフスタイルの変化など、多様化する社会情勢に総合的に対応する視点を加えた「第４次石狩市男女共同参画計画」に適合した各種施策事業を展開する。

【「男女共同参画社会」という用語の周知度】

昨年度			R７年度
目標	実績	達成率	目標
R３年度実績（５２．９％）より増	５８．６％	５８．６％	１００％

【「ワークライフバランス」という用語の周知度】

昨年度			R７年度
目標	実績	達成率	目標
R３年度実績（４９．６％）より増	５５．７％	５５．７％	１００％

【DV にあたる行為を認識している市民の割合】

昨年度			R７年度
目標	実績	達成率	目標
R３年度実績（７８．４％）より増	７５．１％	７５．１％	１００％

⑨ いしかり女性のつながりサポート事業の実施（広聴・市民生活課）

生理の貧困を含む、課題や困難を抱える女性への支援を進めるため、女性相談や女性相談サロンの実施、生理用品の配布及び相談員育成のためのカウンセリング研修等を開催する。

⑩ 消費者行政の推進（消費生活センター）

消費者問題の複雑化・多様化を背景に高齢者などを狙った悪質商法や特殊詐欺等の被害防止と、市民の消費生活の安定・向上を図るため、消費者からの相談対応や被害防止のための情報発信を行う。

【消費生活相談件数】

昨年度			本年度
目標	実績	達成率	目標
R3年度実績 （308件）から減	368件	119.5%	R4年度実績 （368件）から減

⑪ 市民参加・市民協働の推進（広聴・市民生活課）

協働の推進は、息の長い取り組みが必要であり、「市民・職員双方の協働意識啓発」、「協働事業の具体化促進及びレベルアップ」などのほか、「協働の担い手となる市民活動の推進」も継続的に取り組む。